

令和2年度 第3回 大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会
保健福祉部会 会議要旨

1 開催日時 令和3年2月18日（木） 16時30分～18時30分

2 議題

大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和3年度～5年度）の策定について

3 委員発言及び事務局回答

【議題】

○事務局から、資料1に基づき、第3回高齢者福祉専門分科会での意見についての内容を説明。

（主な意見等）

- ・ 介護保険料が高くなっている最も多くの原因是、単身者が多いことであると考えている。単身者が多いとご本人だけでカバーできないので、介護保険制度を利用する方が多いのではないか。
- ・ ケアマネジャーが、ニーズではなくサービスに引っ張られてサービス提供をしているのではないか。ニーズに応じたサービス提供をするような研修を、ケアマネジャーに実施していくことをお願いしたい。
- ・ 大阪府全体でサービス付き高齢者住宅のサービス量が多いという結果が出ている。在宅よりもサービス付き高齢者住宅にいる人達のほうが介護保険サービスを利用している。サービスを公平に利用してもらうため大阪市として議論が必要である。

○事務局から、資料2-1及び資料2-2に基づき、「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（素案）」に対するパブリック・コメント手続の実施結果について説明。

（主な意見等）

- ・ 福祉から災害の支援につなげるためには、例えばひとり暮らし高齢者の見守りネットワークを、どのように災害や防災計画にアウトリーチするかという考えも重要である。そういう文言を可能であれば計画に入れると良いのではないか。
- ・ 災害時における避難行動要支援者について、今後、要介護・要支援者の方々が避難する時のことも含めて、高齢福祉計画を考えてもらえればと思う。
- ・ 災害対応に関して、見守り活動支援の事業の名簿が各地区におりているとのことであるが、災害時に各世帯を回る際には個人情報の壁があり、利用が難しいという問題

がある。

○事務局から、資料3に基づき、「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(素案)」の修正について説明。

(主な意見等)

意見なし